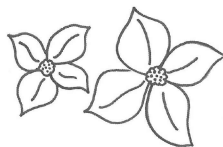




やまぼうし



社会福祉法人 市島福祉会

認定こども園 いちじまこども園

〒669-4321

兵庫県丹波市市島町上垣138-1

(☎) 0795-85-2330

(fax) 0795-85-2335

http://www.ichijima-kodomoen.com

こども園HP



いきよう
ちからいっぱい
じぶんらしく
まっすぐに

就学に向けて！

こども園では就学に向けて各年齢で教育・保育を行っています。保育目標に

- ① 自分の気持ちを自分で言葉でいう力
- ② 自分の事を自分でする力
- ③ 自分で考え、自分で決め、

自分で行動する力

④ 自分もみんなも大切にする力を掲げ、毎日の生活、遊びの中で学んでいけるようにしています。

食事、排泄、着脱などの生活習慣においては、0, 1, 2, 歳児の時から保育者と共に安心して過ごす中で少しずつ自分ですようと、3, 4, 5歳児では、自分から意欲的にできるようになっています。その自立を園で促しています。

この園で、力いっぱい、自分らしく、まっすぐに生きていく力を身につけてほしいです。



▲朝のお集まりです！



▲みんなで考えた芋パーティー♪

クラスのあつまり(3歳児以上)の時には保育者や友だちの話聞き、自分の思いも伝えるなど、話し合いができるようにしています。困ったことがあれば、みんな考えあひ、遊びを面白くするために「こうしてみたらどう？」と意見を出し合います。自分たちでよりよい生活や遊びをつくる力を！と願っています。



▲どうしたらうまく剥けるかな？



「早起き・おひさま・朝ごはん」を園全体で推奨しています。「朝何食べてきたかな？」と問いかけたり、5歳児になると、歯磨き・顔洗い・衣服の着脱・荷物の準備などを自分でできるように伝えていきます。少しずつ意識を持つことで、「今日はして来たよ」と言う子が増えてきました。

また、自分で考えて行動できるようにするために、「どうすればいいかな？」と尋ねるようにし、一緒に考えたりしていきます。

自然の中でも☆

3, 4, 5歳児は秋のムツレ、クニユータナ教室へ出かけています。自然に触れながら、自然の仕組みや大切さ、楽しさ、面白さを体いっぱい使って学びます。仲間意識や集中力も身につけていきます。



倉橋惣三の言葉

科学心の満足は、

科学的知識を学ぶことに

得られるものであるが、

それよりも、科学的に

心を働かせてゆく処に、

一層の興味があるといえる。

「幼稚園雑草」より

(解説)

「えっ、これどうなってるの?」「なんで?」「すごい」。子どもは自然物やモノなどに会ったとき、心を大きく動かし、問い、対話が生まれ、探求し、発見があるのです。まさに、科学する心です。科学する心が溢れかえる園生活を送ってほしいです。

倉橋惣三(1882-1955)

「日本のフレイブル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

